

## 中国5県コロナ対応緊急支援助成（第2期）

### 公募結果

#### ■ 概要

選考結果	採択
団体名	NPO 法人ブ フードバンク福山
代表者名	小林 由卓
申請事業名 主題	コロナ禍で生活困窮になった方への緊急食糧支援活動
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【広島県】実行団体のハード整備と組織基盤強化を通じた、必要とされている方への食支援事業
解決すべき社会課題	① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 ④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援
申請事業の概要	目的は、生活困窮者への食品無償提供による緊急生活支援です。 解決したい課題は、コロナ禍により生活困窮者が増えています。車両を購入することで、より多くの人(前年より30人増、8団体増)に継続して支援物資を届ける事です。 組織基盤強化にも努め、ボランティアさんが安心して活躍できる環境づくり、基盤整備、寄付者及び地域社会への情報発信(信頼度向上と透明性向上を目的)をしていきます。
事業実施地域	備後地域中心(福山市、府中市、神石高原町、尾道市、三原市、笠岡市)
申請事業期間	(開始月)2021年6月～(完了月)2021年12月
申請助成額	6,300,408円 【内訳】直接事業費6,300,408円、管理的経費0円

#### ■ 審査コメント

- ✓ 優先すべきは、ハード整備ではなく、ボランティアなどの参画を増やすことではないか。
- ✓ このままハード整備だけ進めると、取扱物量が増えることで、脆弱な組織基盤にさらに負荷がかかる。
- ✓ コロナ禍でフードバンク活動に多くの注目が集まる中、十分に潜在的担い手を掘り起こし切れていない印象がある。
- ✓ 寄付やボランティアを募集するための伝える力が不足していると思われる。
- ✓ 10年近くの活動実績があり、地道に学習会を開催して協力者を増やすことに専念した方が良いので

は。

- ✓ 共感して協力する人は必ずいる。
- ✓ 自前での少数のチラシ印刷以上に、運営体制の強化により注力することが条件となるようであれば、助成対象としてもよい。
- ✓ 活動実績は問題ない。
- ✓ ボランティアによる活動に信念を持っており、それに賛同する人により活動しているが、事業の継続のため組織基盤の整備が課題となる。
- ✓ 団体HPがなく、活動を周知する方法は人的ルートが中心となるため広報の強化が必要となる。
- ✓ 困窮者を支えようという思いで事業を続けている団体の姿勢は素晴らしい。
- ✓ 代表者の思いで成立している感は否めないものの、支援元・支援先の多様さ、取扱量など十分な実績があり、ひろしま NPO センターのみなさんのサポートを得て体制を強化することで、事業継続の可能性を高めるチャンスになると考える。
- ✓ 長期活動につながるよう基盤整備、情報発信を整えて欲しい。
- ✓ ボランティアにやることは素晴らしいが、限られた人によるボランティアは持続しない。
- ✓ フードバンクは募金活動と同じ、広報とは切っても切れない。それが無いのはボランティア活動としては致命的。
- ✓ 財務諸表も見たが、同時期にスタートしている他県のフードバンクが、寄付会費助成金で 500-600 万円規模になっている。それと比較しても、このままでは先に進めないように感じる。
- ✓ 取扱食料、キャパを増やす申請なので、そうなるとう更に回らなくなるのではないかと心配。
- ✓ ボランティアの募集も、他県のフードバンクでは年間 10 回くらい、いろんところでフードバンクセミナーを開催し、それがボランティアの参画につながっている。人に伝えることを、フードバンクだからこそおろそかにしてはならない。
- ✓ 必ずしも Web 媒体だけではないが、色んな所に伝えることを、足腰を鍛えてやってほしい。
- ✓ 活動は信念をもってやっていることに共感できる。ただ、継続については課題を感じている。
- ✓ しかし、課題を感じつつも、ぜひ広島東部でこれだけの活動を継続してきたので、それを残してほしい。
- ✓ ひろしま NPO センターが関わりを強めることで、今足りていない組織基盤強化、広報力強化等に取り組んでほしい。
- ✓ 本事業を活かして、組織基盤強化の切っ掛けとしていただきたい
- ✓ 課題はあるが、いまなら組織を変えられるという期待を込めて応援したい。
- ✓ 実績については、現状の組織体制等でこれだけの団体を支援、支援物資の量を取り扱っている事がすごい。
- ✓ 中心メンバーの想いで、ボランティアに拘りつつここまでできるのはすごいエネルギーだと思う。県東部にこういった人材がいるのは、とても心強いのではないかと思う。
- ✓ 一方で体制への課題については、組織としての考えもあると思うが、持続性を考えると、このタイミングでリーダーが引っ張る形から、チームで取り組むに変えるいいタイミング
- ✓ ひろしま NPO センターのサポートで体制づくりも含めて応援してほしい
- ✓ 組織のガバナンス・コンプライアンス等にどのように向き合うかということも考えてほしい。

- ✓ 助成金がすべてではない。薬にも毒にもなる。この団体にとって薬となるが毒となるか、その辺りに見極めが大切。
- ✓ 情報発信、広報活動、ボランティア拡大など、現状の体制で本当にできるのか不安。
- ✓ 助成金がない方が草の根的にもっと活動ができるのではないかという印象もある。
- ✓ 費用を見ると、車両に関連する経費が大多数。車両がどれくらい必要かがポイントになる。
- ✓ 団体が扱える以上の物資が集まったとき、それを回せるか心配。
- ✓ また、車両整備してでも集めなくてはならないほど需要があるのか疑問。
- ✓ 車両の必要性があるか？現状対応できる範囲をこえるのではないか心配。
- ✓ 地域にもよるが、フードバンクやっていると、あまり大きすぎる車は難しいこともある。
- ✓ 現在使用している車を買替えることについては理解できるが、2台目については体制に不安がある以上、簡単に判断は出来ない。
- ✓ 組織基盤強化、ボランティア、HP等の広報については、大学生ボランティア活用などの余地もあると思う。
- ✓ ひろしま NPO センターが福山市でも市民活動支援事業を実施しているので、そちらのプログラムとも連携するなどして、なんでも自分たちでやるのではなく、仲間を増やしつつ、組織の基盤を整備して行ってほしい。
- ✓ 車両購入より情報発信充実の方が本団体には必要かと思う。情報発信など上手く実施できれば必ず発展していくと思う。
- ✓ 条件付き採択かと思う。車2台が必要かどうか、広報の改善に取り組めるかどうか。
- ✓ 今までコアメンバーで事業を運営してきたのであれば、外部の人間が来ることによるアレルギーはあると思うが、この機会にぜひ取り組んでいただきたい。
- ✓ 支援についてはひろしま NPO センター頑張れ。